



ICT分野における 科学技術政策上の重要課題

平成21年4月21日

総務省

デジタル日本創生プロジェクト

- ICT(情報通信技術)産業の市場規模は全産業の約1割。**景気の好不況にかかわらず、経済成長に常にプラスの寄与**(06年時点で**実質経済成長の約4割を牽引**)。
- すべての産業の「触媒」であるICT関連投資の促進**により、**景気の下支え**という短期的効果と未来志向型投資の加速化・前倒しによる**内需主導型の中長期的な持続成長の実現**を図ることが必要。

“デジタル日本創生プロジェクト”の推進

---ICT産業市場(95.2兆円)を2015~2020年頃を目途に倍増---
「100兆円規模」の新需要を創出

“産業”の底力

デジタル新産業の創出

日本の強みを活かした
新技術の市場投入の加速化

“政府”の底力

革新的電子政府の構築

政府が率先して最新技術を導入し、
効率化やサービス向上を実現

“地域”の底力

ユビキタスタウンの構築

ユビキタス技術の集中投下による
地域サービス向上・地場産業の支援

底力を支える基盤整備

先進的デジタルネットワークの構築

世界を常に一歩リードする情報通信網の整備

クリエイティブ
産業の育成強化

ユビキタスグリーン
ICTの開発・展開

高度ICT人材等
の育成

ネットワークの
安心・安全の実現

ICT産業の
国際競争力強化

デジタル新産業の創出に向けた研究開発の推進

国際的に戦略分野と認識されているICT分野で我が国が強みとする技術を見極め、これらの技術の研究開発等の加速化を図り、その早期の市場投入によりデジタル新産業の創出を実現し、産業の活性化・国際競争力の強化等の向上を目指すことが必要不可欠。

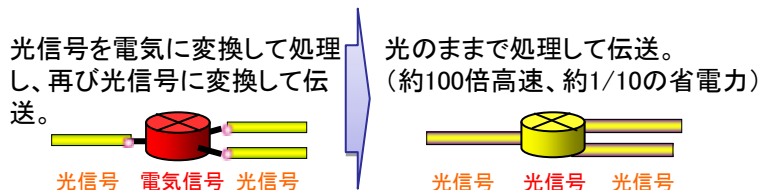
中期的に強化すべき分野・課題

○技術の基盤性や市場性、我が国の強み、社会へのインパクト等を考慮し、今後我が国として、次世代技術としての以下の4分野5課題の研究開発を重点的に強化する。

◆ネットワーク技術分野

オール光通信技術※1、新世代ネットワーク※2技術

※1 オール光通信技術のイメージ



※2 現在のネットワークの課題を抜本的に解決するインターネットの次の新しい世代のネットワーク

◆ワイヤレス技術分野

次世代ワイヤレス技術



屋内の電化製品をワイヤレスで接続し、煩わしい配線から解放



最先端の情報通信技術を活用し、ぶつからない車を実現(次世代ITS)

◆映像技術分野

3次元映像技術

通信・放送分野に加えて、医療、エンターテインメント分野等の様々な分野で新たな製品・サービスを創造。



◆環境技術分野

ITS、3次元映像技術、オール光通信技術

研究開発・標準化推進方策

○ 研究開発・標準化戦略

✓産業界、大学、研究独法、国の間で共有できる戦略を策定し、産学官連携の下、ナショナルプロジェクトとして推進

○ 国内外への展開を促進するための研究開発方策

✓世界市場を視野に入れた海外企業等との共同研究、我が国の技術の埋込み等を推進

○ 標準化への戦略的な取組み

✓産学界を先導して標準化活動に取り組むプロ集団としての標準化人材の確保・育成

✓標準化段階から海外企業等も参加した相互接続性確保の取組みを推進